



2023年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月13日

上場会社名 REVOLUTION

上場取引所 東

コード番号 8894 URL <https://revolution.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ジョン・フー

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 津野 浩志

TEL 083-229-8894

四半期報告書提出予定日 2023年9月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第3四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	2,321	263.6	196		194		201	
2022年10月期第3四半期	638	28.8	257		245		288	

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 176百万円 (%) 2022年10月期第3四半期 263百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	0.50	
2022年10月期第3四半期	0.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期第3四半期	2,313	1,504	64.9	3.75
2022年10月期	3,598	1,677	46.6	4.19

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 1,500百万円 2022年10月期 1,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		0.00		0.00	0.00
2023年10月期		0.00			
2023年10月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,394	18.1	338		326		262		0.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「1株当たり当期純利益」は、A種種類株式の取得請求権行使による発行済株式の増加を加味しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期3Q	400,000,510 株	2022年10月期	400,000,510 株
期末自己株式数	2023年10月期3Q	4,301 株	2022年10月期	4,301 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期3Q	399,996,209 株	2022年10月期3Q	399,996,294 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関して5類感染症に位置づけすることが政府より発表され、今後の経済活動の水準引き上げが進みました。しかしながら、ロシア・ウクライナによる紛争が継続していること、アメリカ債務上限問題の顕在化や為替相場においては依然として円安傾向にあること等により原材料や光熱費が高騰し、国内における経済状況は非常に厳しくなっており引き続き不透明な状況が継続しております。

当社グループのセグメントに係る各業界においても、国内景気と同様、先行きは不透明な状況です。

このような状況下、不動産事業においては、日本を再生するために日本を買う「BUY JAPAN」を事業テーマに不動産運用へのビジネスモデルの転換を進めております。また、国内外富裕層向け不動産プロジェクト第一弾「絶景ジャパン」のコンセプトを掲げ、物件の仕入れ、福岡や沖縄への出店等に注力しました。投資事業においては、保有する上場会社社債を株式に転換し市場での売却を進めるとともに、新たな投資先を検討、実行いたしました。ファイナンス事業においては、想定より早く貸金業者の登録通知を受領できたため、早期に事業を展開できるように準備を進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は23億2千1百万円（前年同四半期比263.6%増）、営業損失は1億9千6百万円（前年同四半期は営業損失2億5千7百万円）、経常損失は1億9千4百万円（前年同四半期は経常損失2億4千5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億1百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億8千8百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不動産事業

仕入れた物件の売却や中古住宅の仲介案件を中心に契約、引き渡しを進め、物件の管理や営繕工事、家賃収入等の賃貸事業に注力いたしました。また、物件の仕入れについて関西、福岡、沖縄地域を中心に進め、販売活動を行っております。なお、昨年仕入れた東京都港区六本木の土地について引き渡し（売上計上）いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21億6千7百万円（前年同四半期比263.8%増）、営業利益は8千1百万円（前年同四半期は営業損失2千2百万円）となりました。

② 投資事業

当第3四半期連結会計期間において、再生医療事業・細胞培養事業を手掛ける株式会社ルミライズの第三者割当増資を引き受け、これまでの投資実績は7社9件となりました。また、第2四半期連結会計期間以降、PBR（株価純資産倍率）が1倍を下回る先への新規投資を検討・実行、SCRIPTS Asia Inc.への出資の買戻契約を締結し譲渡、燦キャピタルマネージメント株式会社の新株予約権を売却いたしました。なお、投資運用業、投資助言代理業開始に向け、関東財務局に対して申請手続きを提出し、質疑応答を進めておりましたが、2023年5月9日付で登録通知を受領いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億5千4百万円（前年同四半期比261.2%増）、営業利益は5千7百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

③ ファイナンス事業

第2四半期連結会計期間において、不動産事業及び投資事業のノウハウを生かす不動産金融のプラットフォーム運営を行うことを目的とした不動産金融子会社を新たに設立、当第3四半期連結会計期間において、貸金業者の登録通知を受領できたため、早期に事業を展開できるように準備を進めております。不動産担保融資をお取り扱いする貸金業者様に対して、バックファイナンス資金を提供する卸金融事業の展開を目指しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は無く、営業損失5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は21億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億8千4百万円減少しました。販売用不動産の減少8億5千6百万円、現金及び預金の減少3億2千6百万円が主な要因であります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1億8百万円となり、前連結会計年度末に比べて4百万円減少しました。敷金及び保証金の減少1千9百万円が主な要因であります。

③ 繰延資産

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産は4百万円となり、前連結会計年度末に比べて4百万円増加しました。新株予約権を発行したことによる新株予約権交付費の増加4百万円が主な要因であります。

④ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は7億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億2千3百万円減少しました。返済による短期借入金の減少6億6千5百万円が主な要因であります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億8千8百万円減少しました。返済による長期借入金の減少4億円が主な要因であります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は15億4百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億7千2百万円減少しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は23億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億8千5百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえて、2023年6月13日付の「2023年10月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した2023年10月期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日別途公表いたしました「2023年10月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,176,837	850,034
営業未収入金	19,905	10,798
営業投資有価証券	494,695	333,117
商品	523	276
販売用不動産	1,692,925	836,251
未成工事支出金	7,057	7,015
その他	93,751	163,356
貸倒引当金	△1,138	△1,049
流動資産合計	3,484,558	2,199,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,691	28,648
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	5,578	4,250
有形固定資産合計	22,269	32,899
無形固定資産		
ソフトウェア	4,250	3,365
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	8,516	7,631
投資その他の資産		
投資有価証券	6,750	8,586
出資金	950	950
破産更生債権等	3,235	5,502
敷金及び保証金	74,393	54,394
その他	760	4,524
貸倒引当金	△3,235	△5,502
投資その他の資産合計	82,853	68,454
固定資産合計	113,639	108,985
繰延資産	-	4,362
資産合計	3,598,198	2,313,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	28,174	12,741
短期借入金	1,000,000	334,860
未払金	1,909	11,366
未払法人税等	625	369
借入有価証券	124,402	135,888
預り金	130,707	100,321
賞与引当金	7,170	3,320
前受収益	21,840	8,408
その他	133,785	117,972
流動負債合計	1,448,614	725,247
固定負債		
長期借入金	400,000	-
退職給付に係る負債	19,703	16,315
長期預り敷金保証金	30,499	29,288
その他	22,275	38,168
固定負債合計	472,478	83,772
負債合計	1,921,092	809,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,511,355	1,511,355
利益剰余金	47,616	△153,691
自己株式	△1,972	△1,972
株主資本合計	1,656,999	1,455,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,106	45,075
その他の包括利益累計額合計	20,106	45,075
新株予約権	-	3,306
非支配株主持分	-	55
純資産合計	1,677,105	1,504,128
負債純資産合計	3,598,198	2,313,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年7月31日)
売上高	638,414	2,321,335
売上原価	445,598	1,956,598
売上総利益	192,815	364,736
販売費及び一般管理費	450,215	561,201
営業損失(△)	△257,400	△196,464
営業外収益		
受取利息	14	130
受取配当金	248	274
貸倒引当金戻入額	163	-
業務受託収入	72,000	37,666
その他	3,682	6,787
営業外収益合計	76,108	44,859
営業外費用		
支払利息	6,720	10,875
株式交付費償却	3,530	-
業務受託費用	52,211	28,242
その他	2,184	3,333
営業外費用合計	64,647	42,451
経常損失(△)	△245,939	△194,056
特別利益		
固定資産売却益	28	10
新株予約権戻入益	-	5
特別利益合計	28	15
特別損失		
店舗閉鎖損失	-	879
事業再編損	-	5,212
減損損失	41,207	-
その他	715	147
特別損失合計	41,922	6,240
税金等調整前四半期純損失(△)	△287,833	△200,280
法人税、住民税及び事業税	369	1,027
法人税等合計	369	1,027
四半期純損失(△)	△288,203	△201,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△288,203	△201,308

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期純損失(△)	△288,203	△201,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,695	24,969
その他の包括利益合計	24,695	24,969
四半期包括利益	△263,507	△176,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△263,507	△176,339
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業	ファイナンス 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	359,464	-	-	359,464	-	359,464
その他の収益(注) 3	236,279	42,670	-	278,950	-	278,950
外部顧客への売上高	595,743	42,670	-	638,414	-	638,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	595,743	42,670	-	638,414	-	638,414
セグメント損失(△)	△22,525	△6,009	-	△28,535	△228,865	△257,400

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△228,865千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、保有する固定資産の保有方針を変更したため、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において41,207千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業	ファイナンス 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,061,968	-	-	2,061,968	-	2,061,968
その他の収益(注) 3	105,243	154,124	-	259,367	-	259,367
外部顧客への売上高	2,167,211	154,124	-	2,321,335	-	2,321,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,167,211	154,124	-	2,321,335	-	2,321,335
セグメント利益又は セグメント損失(△)	81,962	57,070	△5,686	133,346	△329,810	△196,464

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△329,810千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産

産貸貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号2019年7月4日）に基づく金融商品に係る取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項は有りません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは「不動産事業」、「投資事業」を報告セグメントとしておりましたが、第2四半期連結会計期間より株式会社REVOLUTION FINANCEを連結子会社としたことを契機に、従来の報告セグメントに加え「ファイナンス事業」を報告セグメントとして新たに記載しております。